

ブロック ま な び
3B MANABI communication
ちゅう がっ こ ばん
中学校版

2022年度
Vol.02

そ ぞう そ ぞう ～ いま い こ ちから
想像から創造へ ～ 今を生きる子どもたちにつけたい力～

この通信では、第3教育ブロックのテーマ『誰一人取り残さない学力の向上』の実現をめざして、「探究」「読解」について紹介します。

「読む」ときに意識するとよいこと

POINT
国語だけでなく、すべての教科において…そして、日常生活でも
「読む」場面はたくさんあります。実践してみてください。

わからないところは
どこか考える

わからないと思ったら
何回か読んでみる

あれ?と思ったら
ゆっくり読む

「これ」「それ」などが
何を指しているか
はっきりさせる

自分の言葉で
言いなおす

大事そうなところを
見つける

箇条書きにする

キーワードを見つけて
目立つようにする

だいたいどういう
流れなのか図にする

自分が知っていることと
同じところ、違うところを考える

あいまいな表現のものを
具体的にどういうことか
言いなおす

自分が知っている内容と
結び付ける

さらに
レベルアップ!

新聞、科学雑誌、
データ資料など
あらゆるジャンルを
読んでみる

テキストの内容を
まとめたり、自分の
意見を日記や作文
として書いてみる

かぞく ども
家族や友だち、
せんせい なよう
先生たちと内容に
かん 関しての考え方や
かん そう つた あ
感想を伝え合う

読むことを
楽しみま
しょう♪



前回は、「探究的な学習」について紹介しました。

ふり返りをしてみましょう。

探究的な学習の過程

①【課題の設定】

日常生活や社会に目を向けたとき、また教科学習や体験活動を通して、わき上がってくる疑問や関心に基づいて、自ら課題を見つける。

②【情報の収集】

「課題」の中にある具体的な問題について情報を収集する。

③【整理・分析】

集めた情報を整理・分析したり、知識や技能に結びつけたり、考えを出し合ったりしながら問題の解決に取り組む。

④【まとめ・表現】

気づきや発見、自分の考え方や意見などをまとめ、表現する。

探究の過程は何度もくり返され、質が高まっていく

参考：文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」（中学校編・高校編）



自分自身の「探究」してみたいテーマ・課題は見つかりましたか？
見つかった人は、どんどん深めていきましょう。

「探究的な学習」を深めていくためには

「読解力」を高めることが重要です。

今、求められる「読解力」とは…

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

※OECD（経済協力開発機構）生徒の学習到達度調査における「読解リテラシー」の定義



①「情報を探し出す」 能力

- ・テキストの中の情報にアクセスし、取り出す
- ・関連するテキストを探索し、選び出す
(例) 必要な情報がどのWebサイトに記載されているか推測し探し出す

②「理解する」能力

- ・字句の意味を理解する
- ・統合し、推論を創出する

③「評価し、熟考する」 能力

- ・質と信ぴょう性を評価する
- ・内容と形式について熟考する
- ・矛盾を見つけて対処する

参考：国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査2018年調査（PISA2018）のポイント

生活の中で「読む」ことを意識し、

今、求められる読解力を身につけていきましょう